

国際農村開発学ユニット（環境生態学コース）

自分の目で，世界を見よう！！

私たちは，農山漁村の様々な問題を解決するために，人と地域に着目した研究を行っています。地域の人々の立場から問題の発生メカニズムを理解し，人々の立場にたった解決策を考えています。

農山漁村の問題は，みなさんにとって縁遠い話かもしれませんが，しかし，少子高齢化や人口減少は，近い将来，日本のどの地域でも起こります。農山漁村の「今」は，みなさんの住む地域の，そして日本全体の将来の姿でもあります。だからこそ，農山漁村の問題を私たちの問題として考えることが大切なのです。

教員

教授 金 科哲（専門：人文地理学）

准教授 本田 恭子（専門：農村社会学）



研究の特徴

テーマ設定

今，農山漁村で問題になっている話題から，自分の興味に合わせてテーマを決めます。

最近の学生の研究テーマ

地方創生・地域おこし，Iターン
商店街活性化，伝統文化の継承
環境保全活動，防災…etc.

フィールドワーク

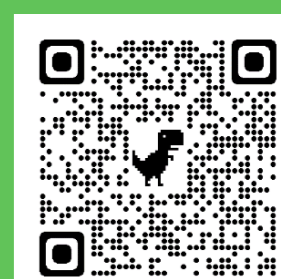
インタビューやアンケートなど，人と地域を対象にした調査を行います。

3年次には卒業研究の予行演習として，2泊3日の合宿形式の実習を行います。フィールドワークが初めての方も，実習を通してフィールドワークの技法を習得できます！



（ベトナムでの農家インタビューの様子）

東アジア・東南アジアからの多数の留学生がいます
海外調査をやってみたい学生さん大歓迎！！



研究室HP